

awa life の「Japanese Lesson」の誤用の説明

2月発行の awa life の「Japanese Lesson」で「～そうだ」を使って話し手がテレビ、新聞、知人などの第三者から得た情報を聞き手に「伝えたい」という気持ちを込めて言う言い方を勉強しました。

例文

田中さんと近所に住んでいる留学生のジミーさんが話をしてしています。

ジミー：田中さん、おはようございます。

田中：おはようございます。今日はとても寒いですね。

ジミー：はい、日本の冬はとても寒いです。

田中：天気予報によると、夕方から雪が**ふる**そうですよ。

ジミー：ほんとですか。



上記の文の□に入れる言葉は「天気予報によると、夕方から雪が**ふり**そうですよ」です。でも正しいかなと思った人はいませんか。とてもよく似た言い方ですが正しくありません。

「**ふり**そうです」の正しい使い方は、寒い日、空が雲で暗くなったのを見て「雪が**ふり**そうですよ」と使います。この言い方は話し手が見たものから感じたことや、次に起るかもしれないと思ったことを言うときに使います。作り方は「動詞のます形+そうだ」、「形容詞は語幹(変わらない部分)+そうだ」です。よく似ている言い方なので間違えないようにしましょう。

次の練習問題をしてみましょう。

問題：1～4の文を「～そうだ」をつかって完成させてください。

1. (料理を見て)「わあ、この料理(おいしいです→)ね。」
2. 雑誌で読みましたが、この料理とても(おいしいです→)。
3. A: 聞いたんだけど、佐藤さん、裕子さんを両親に紹介したそうですよ。
B: ほんとですか。このままいくとあの二人、春には(結婚します→)ね。
1カ月後の2月のある日…
A: Bさん、知ってますか。
佐藤さんが言ってたんだけど、裕子さんと3月に(結婚します→)よ。

答え

1. おいしそうです
2. おいしいそうです
3. 結婚しそうです/結婚するそうです